

麻生区区民会議 第10回専門部会『麻生区の魅力発掘・発信検討部会』議事要旨

- 1 開催日時：平成29年11月14日（火）午後3時～午後5時
- 2 開催場所：麻生区役所 第4会議室
- 3 出席者：[専門部会委員] 石井よし子委員、菅野明委員、鈴木昭弘委員、高倉秀敏委員（副部会長）、長岡さや委員、橋本周委員、林恵美委員（部会長、全体会副委員長）、松田基久乃委員、吉垣君子委員
（欠席）安藤和彦委員
[事務局] 企画課 安藤課長、福島係長、長瀬
[コンサルタント] 中島、永野
- 4 傍聴者：0名
- 5 議 題：
 1. 調査・審議課題の検討について
 - (1) これまでの審議内容の振り返り
 - ・『麻生区の魅力発掘・発信検討部会』におけるこれまでの審議内容を振り返るとともに、合意事項についての再確認を行った。
 - (2) 調査審議課題の検討
 - 1) 発信する麻生区の魅力について
 - ・コンサルより前回の意見を反映したまちのイメージ（案）に関する説明を行った。
 - ・例示に関しては細くなりすぎるため、抽象的な文言に留めることとした。
 - ・委員の意見を基に、さらにイメージ（案）をブラッシュアップしていくこととした。
- 【主な意見】
 - ・「芸術・文化のまち」に関しては、麻生区には書家が多いため、絵画の後に書を入れた方がよい。
 - ・文化・芸術のくくりを大きくとらえ、細かな例示は除いてはどうか。
 - ・「都心近くの自然と農が残るまち」に関しては、やはり「昔ながらの」という表現は外した方がよいと思う。
 - ・「都心近くの自然と農が残るまち」に関しては、自然の描写が少ないため、自然が多いことが伝わる内容としてほしい。
 - ・「市民活動が盛んなまち」に関しては、「市民活動によるところが大きいようです。」という表現が曖昧なので、「市民活動によるところが大きいと言えます。」でよいと思う。

2) 麻生区の魅力の発信方法について

【今後の方向性】

- ・冊子は子育て世帯の親が読む内容とすることとし、既存の冊子や情報の紹介といった「情報提供」と、子どもと一緒に体験できるイベント等の内容に特化するという意味での「差別化」を主軸とすることを提言内容とすることとした。
- ・冊子のサイズについては、内容次第であるため、当面はA4をベースに検討することとした。
- ・配布場所については、小学校での配布を基本とする提言とし、公共施設への設置、インターネットを利用した配信についても検討することとした。

【主な意見】

- ・写真を重視するとA4サイズの方が見やすいと思う。
- ・持ち歩くのであればA5サイズが良いだろう。
- ・麻生区の成り立ちや魅力を紹介するのであるから、写真は多用した方が良いと思う。また、昔と今を対比できる写真が望ましい。
- ・内容は大人向けの文章とする必要がある。
- ・テクニク的な話になるが、「親子で楽しむ麻生区の魅力」とするなど、学校で子どもに配ってもらう形に整える必要があると思う。
- ・児童が参加するというコンセプトが入っていれば、学校は受け入れてくれるのではないか。いずれにしても、学校側に趣旨を説明し賛同してもらう必要がある。
- ・親子ともども麻生区の魅力を知ってもらい、麻生区に住み続けてもらうという趣旨である必要がある。
- ・岡上のような飛び地があることは示してほしい。
- ・歴史の読み物ではないので、麻生区の魅力につながる部分の成り立ちを紹介すればよいのではないか。
- ・それほどボリュームがあるものを想定しているわけではないので、事細かく全てを記載することはできないと思う。
- ・商業的な情報を掲載することは避けた方が良いと思う。
- ・地図、行事イベント、既存の冊子等の詳細な情報媒体の紹介（情報提供）があると良い。
- ・子どもと一緒に麻生区の魅力を体験できるイベントに特化してはどうか。特化することで既存の冊子等と差別化が図れると思う。
- ・発行回数については冊子の内容次第であると思う。提言を実現する発行主体が調整する必要があるが出てくるだろう。
- ・小学校低学年の親を対象とするわけだから、配布場所は小学校が基本となるだろう。
- ・今回は対象を絞っているわけだから、小学校低学年以外はこの提言が実現した場合に別途やってもらえれば良いのではないか。
- ・役所等の公共施設にも置いた方が良いだろう。
- ・ネットも併せて検討する必要があるのではないか。

3) 発信主体について

【今後の方向性】

- ・発信主体は魅力PR委員会の発足を中心に検討することとしたが、実現性、必要性等を踏まえつつ、その役割や構成等については今後検討することとした。

【主な意見】

- ・冊子の企画や発行はPR委員会の役割となるだろう。
- ・本部会の趣旨を達成できるような集合体とする必応がある。
- ・今の状態だと、PR委員会というよりは冊子編集委員会というイメージである。

2. 全体会議資料について

- ・資料2について、3.(3) 発信主体についてのうち、①以降を削除することとした。
- ・残りの部分の修正については、部会長、副部会長に一任することの了承を得た。

3. その他

- ・「麻生区区民会議ニュース第6期V o l . 3」の修正点を伝達した。
- ・次回は12月12日(火)に開催することを伝達した。

以 上